

100%の就職率を実現 教職員が一丸となりサポート

実学に重きをおいた教育により高い評価を得ている崇城大学。強い就職力も維持しており、2017年卒業者の就職率は100%（対就職希望者）と極めて高く、就職に対する学生満足度も学内調査で93.6%と高い。さらに、企業就職者のほぼ全員が正規社員として採用されている。

2011年からキャリア教育を必修化し、教員一人が学生約5人の割合で入学時よりサポートするチューター制も導入。1年次から一人ひとりの個性にあった指導を行い、コミュニケーション能力の向上や、就業意識の高揚に取り組んできた。五感を駆使した企業研究の大切さを体感できる「企業見学バスツアー」が好評で、ミスマッチ就職の予防にもなっている。また企業と大学の連携強化も進めており、学内合同企業説

明会、企業と本学との人材財育成研究会などを通じて、地元志向の強い学生と優秀な人材を求める地元企業のベストマッチングを図っている。早くから学生の起業家育成にも

取り組み、同大学が主催する「ビジネスプランコンテスト」は西日本最大規模となっている。独自の英語教育も実施しており、17名の英語ネイティブ講師が在籍し様々な環境で、コミュニケーション型の英語教育に重点をおき世界で活躍できる人材を育てている。

●担当者からの声

今年度も企業の採用意欲は非常に高く、求人数も増加しておりますが、最も重要なことは学生が自ら活発に活動することだと認識しています。今後も本学学生の主体的な就職活動を促進すべく、教職員一丸となった支援を行ってまいります。

平成28年度 就職状況

就職率

100%

(就職者574名 / 就職希望者574名)

- ▶ 企業内定者のほぼ全員が正規採用
- ▶ 内定企業の52.8%が従業員数301人以上の大手企業
- ▶ 学生の93.6%が就職に満足

就職率 全国・九州との比較



全国平均97.6% 九州地区97.6%
(文部科学省、厚生労働省の資料による。平成29年4月1日)